



ぶんよう

2018年(平成30年度)11月号

下関市立文洋中学校

下関市上新地町5-6-1

電話 223-8176

FAX 223-8177

深化と進化

●秋も深まり、落ち葉が風に舞う季節となりました。先日10月21日(日)に開催しました文化祭では、晴天にも恵まれたたくさんの保護者・地域の皆様にご来場頂きまして心よりお礼申し上げます。また、PTA役員の皆様、バザー等ご協力本当にありがとうございました。今年の文化祭のテーマは「彩り～1つのキャンパス 無限のカラー」でした。そこで、私はふと心の中に、深化と進化という言葉が過ぎりました。文洋中学校では総合Bとして特色ある教育活動に取り組んできました。その活動は、本校の教育活動の中にしっかり深化をしていると思います。今年、平家太鼓では連日、八音会の皆様のご指導のお陰で、三味線も唄も生徒が行いました。また、今年も他校ではあまり例のないユニティ合唱を聴くことができました。ピクセルアートでは、華やかな彩りではなく雪舟の山水図を制作してくれました。これが何を現そうとしているか。驚愕です。先輩達から受け継いできた素晴らしい教育活動は今の生徒達によって進化しているようです。そしてその過程において変わらず地域の方の支援が生徒を支えてくださいます。それは地域や人の温もりを生徒に味わわせるのです。深化と進化を支える人の繋がりという伝統がある文洋中学校文化祭が「みんな」で今年も開催できましたこと心より感謝申し上げます。

校長 磯部 芳規



お知らせ

●10月30日(火)に小中連携教育推進校・連携校研究会 兼 下関市授業づくり研修会(中学校英語科)が本校で開催されました。当日県内からたくさんの英語科を中心とする先生方が本校の1、2年生の英語科を参観されました。「Speaking 力の向上のための言語活動の工夫」という視点で授業が進められました。生徒の活気ある授業は先生方の目にどう映ったのでしょうか。

●2年生の星野香菜さんが中国納税貯蓄組合連合会長を受賞し、11月10日(土)シーモール下関にて表彰されました。尚、2年生の奥田優香さんは習字で入選しました。

●11月2日(金)人権参観日では参観いただきましてありがとうございました。また、当日1、2学年は懇談会を実施しました。1年生の学級新聞の中にいじめが残すと思ったことは「人生をダメにする」「心の傷」「いじめは絶対に起きてはいけない」と思っているにも関わらず、今も根絶されていない現状にクラスとしてきちんと向き合っていて考えていく、という学級新聞を読みながら、学校として、地域や家庭等と協力し、これからも気を締めてしっかりと取り組みたいと思います。

●音楽家の藤田卓也さんをはじめ5名の音楽家の方々を招いて10月31日(水)に音楽鑑賞教室が開催されました。教室ではオペラ「カルメン」を上演していただきました。プロの迫力を感じるとともに、歌の指導もあり大変有意義な時間を過ごすことができました。

●下関市中学校音楽祭が10月25日(木)に開催され3年生が学校を代表して参加しました。音楽祭の講師の方より3年生の合唱へとても高い評価をいただきました。

●11月15日(木)・16日(金)の2日間で3年生がひまわり保育園で保育実習を体験させていただきました。3年生の笑顔がとても印象的でした。ひまわり保育園様ご指導ありがとうございました。



授業づくり研修会



中国納税貯蓄組合



音楽鑑賞・オペラ



下関市音楽祭

● 11月11日(日)第39回「私の意見発表会」が開催されました。本校代表者の全文をご紹介します。

第39回「私の意見発表会」 文洋中学校3年 鼻地 咲来

朝、学校に歌が響く。「ああ、今年もこの時期がやってきた」と実感します。今年は9月25日から。文化祭の合唱コンクールに向けた約一か月という長い、長い戦いが始まりました。朝も昼も放課後も練習し、いつも合唱のことを考えるそんな日々です。私は合唱委員として合唱をまとめる立場でした。『「金賞」という目標に向かってみんなで一致団結して合唱をしていく』そんなことを夢見ていましたが、現実はそのような簡単ではありませんでした。私の戦いはほかのクラスとの戦いではなく、自分のクラスとの戦いでした。朝練に参加しない人、本気で歌ってくれない人、練習中にふざける人。朝練が解禁されてから一週間たっても一向に変えることができませんでした。「合唱に本気にさせる」それがどれだけ難しいことか、改めて実感しました。

さらに、大変だったのがユニティ合唱です。文洋中学校では、二年前からユニティ合唱が始まりました。私たちは普段の学校生活や行事の中で文洋中学校の特性を生かして、縦割りといって学年関係なく組ごとに分かれて活動しています。その一環で、一組ユニティ・二組ユニティに分かれて課題曲を歌うのがユニティ合唱です。担任の先生からは「ユニティ合唱では3年生の空気づくりが大切だ」と言われました。「クラスの合唱ですらバラバラなのに、ユニティ合唱で空気づくりなんかできるのだろうか」そんな不安でいっぱいでした。いつもの倍以上の人数で歌う合唱は、迫力があります。しかし、それ以上に声がそろわなかったり、動きが遅かったり、問題の方が多かったのです。ユニティ合唱の練習が始まると私たちは怒られてばかりでした。「3年生の空気がよくない、合唱委員が動いていない」いろいろなことを言われ、「どうしてうまくいかないのだろう、なんで合唱に本気になってくれないのか」と心が折れそうになったときもありました。そんな中、私が変わるきっかけとなったのが「リーダーはみんなと一緒にやりなさい」という言葉でした。この言葉を聞いたとき「私はリーダーとして一緒にやっていこうか」「指示だけだして、みんながやってくれないことに不満をもっていただけなのではないか」と思いました。そして、まずは「みんなと一緒にやってみる」ことにしました。私にできる「みんなと一緒にやってみる」ことは何だろうと考えました。それは、誰よりも一生懸命に歌うことでした。誰よりも大きな口を開け、誰よりも声をだし、みんなと同じ目線で声かけをしました。すると、少しずつ変化が表れたのです。練習への態度が変わり、声がそろうようになり、合唱に本気になっていきました。自分の本気が人に伝わり、他の人を本気にすることができました。みんなが本気になり合唱に向かっていくことができ、本当にうれしかったです。そして、文化祭当日。最高の合唱ができたと思います。結果はクラス合唱で金賞をとることができました。残念ながら、ユニティ合唱では負けてしまいましたが、しかし、結果ではなく、それまでの過程の中に大きな価値があったと私は思います。「みんなと合唱に本気になれた」ことが私の財産です。

合唱委員は大変でした。クラスの、ユニティの合唱のために一生懸命考え、計画しても、言うことは聞いてくれませんし、文句は全部合唱委員にきます。本当に大変でした。でも、私は合唱委員をやってよかったと思っています。なぜなら、合唱をとおして私はたくさんのことを学べたからです。リーダーとしての姿、人を本気にさせるために大切なこと、合唱のすばらしさなどなど本当にたくさんを学びました。もう朝、学校に行ってもあの歌は響いていません。ですが、あの歌は私の中でいつまでも響き続けます。

